

いわふねのうしんくいきほぜんかい

## 岩船農振区域保全会（中野市）

• 組織の活動面積 A= 3.85 ha

• 組織の構成員数 約 19 人

組織形態

農地維持

資源向上(共同)

資源向上  
(長寿命化)

取組開始年度

平成26年～

—

—

構成員

活動区域内で農地を耕作している農家、岩船区(自治会)及び岩船農家組合

### 「岩船農振区域保全会」の概要

岩船区は昭和50年頃までは80戸程の小さな農村集落でありましたが、主要地方道豊野中野線と国道403号線に囲まれて、中野市の中心市街地に隣接し、長野電鉄「信州中野駅」の南西側で、行政の役所、金融機関、病院や保育園・小学校・中学校、スーパーマーケット、ホームセンター等が近いことから、農地が宅地開発され、現在は持ち家が350戸、アパート世帯が450程と大幅に増加し、混住化により農業環境は大きく変化してきました。

そんな中で、土地改良の対象にならなかった農業振興区域の農地と自然環境を守っていくため、関係農家が、この制度を知り、保全会を組織して、農用地の畦畔の草刈りや、農業用水路の泥上げ等の維持管理に取り組んでいます。

### 農地や、豊かな水環境を守るために

水路の泥上げ作業



水路周辺の除草作業



現地の巡回調査



草刈り機を使って水路周囲の除草作業

